

Vol.1では、「潤いのある暮らし」で人生100年時代を乗り切るという大きな目的に向かって、元手(お金)を投資で作っていきましょう、ということをお伝えしました。今回は、世代によって投資の目的が少しずつ変化していくこと、どのようにお金を投資に振り分ければ良いのか、についてお伝えします。

## 世代別に投資の目的を知っておこう

引退世代は、誰もお金を取り崩していかねばなりません。ですから、投資の成果を「潤いのある暮らし」に使いつつ、長生きのために投資を続けることになります。一方、資産形成世代(現役世代)は、引退後に「潤いのある暮らし」が始められるよう、今から投資でお金を働かせていきたいのです。こうして、投資の目的も世代によって少し異なることを覚えておいてください。

次に、どの世代も今の仕事や趣味もまた大事ですので、株式や為替などの価格(相場)変動を気にせず、専門知識も必要としない前提で投資することを考えます。

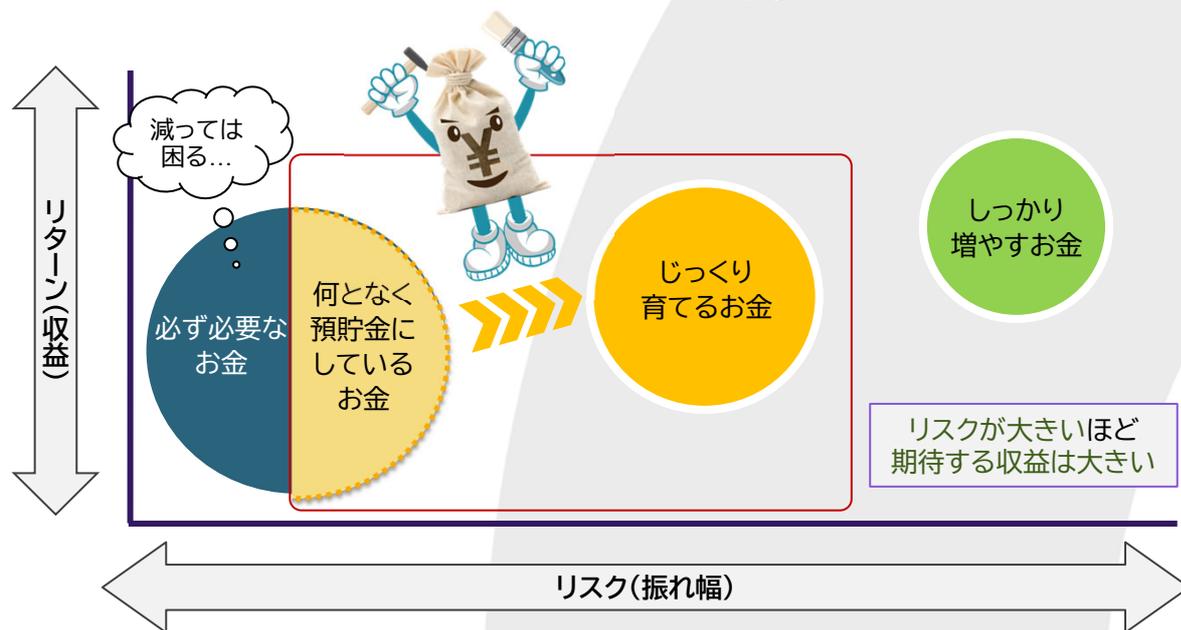
投資には、リターンをあまり損なわずにリスクを小さくするような手法があり、専門家がこの手法で運用する金融商品もあります。ですから、必ずしもご自身が専門家である必要はないのです。

## 必ず必要なお金と、じっくり育てるお金に振り分ける

多くの場合、みなさんが投資していないお金には、生活費や子どもの学費といった“減っては困る必ず必要なお金”と“何となく預貯金にしているお金”があると思います。この“何となく・・・”のお金に働いてもらい、「潤いのある暮らし」を送るための元手(お金)を作っていただきたいのです。

引退世代にとって「お金に働いてもらう」とは、リスクが大きすぎず、リターンがほどほどの“じっくり育てるお金”に振り分けることで叶うでしょう。もし引退まで時間がある資産形成世代であれば、さらにリターンが期待できる“しっかり増やすお金”にも振り分けることもできるでしょう。

引退世代は人生100年時代に「潤いのある暮らし」を続けるために、資産形成世代は来たる「潤いのある暮らし」ができるように、“何となく・・・”のお金を、“じっくり育てるお金”や“しっかり増やすお金”に振り分けることを検討してはいかがでしょうか。



※上図は考え方の一例を示すことを目的としたイメージであり、商品の利回りなどを保証するものではありません。